

フクビ防水部材 「ウェザータイトパイプ用」

モルタル対応 施工説明書

このたびは、フクビ製品「ウェザータイトパイプ用」をお買い上げくださりまして有難うございました。
 湿式外装材(モルタル塗り仕上げ)でお使いの場合は、下記の施工説明をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

⚠注意 施工前の確認

- 湿式外装材(モルタル塗り仕上げ)の場合の施工説明です。
- 乾式外装材(サイディング)やモルタル通気構法の場合は、通常の施工説明書を参照ください。
- 防水紙はJIS A 6005(アスファルトルーフィングフェルト)に適合するアスファルトフェルト430、改質アスファルトフェルトまたはこれらと同等以上の性能を有するものをご使用ください。
- 透湿防水シートはモルタル塗り仕上げ用ではございませんので使用しないでください。

■ウェザータイトパイプ用規格

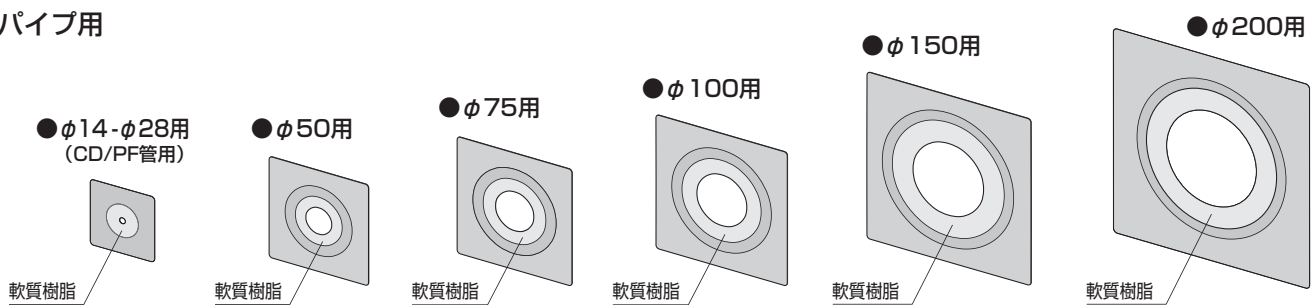
呼 称	外形寸法	適応呼び径
ウェザータイトパイプ用 φ14-28用	100mm×100mm	φ14-28のCD管・PF管
ウェザータイトパイプ用 φ50用	156mm×156mm	φ50
ウェザータイトパイプ用 φ75用	180mm×180mm	φ75
ウェザータイトパイプ用 φ100用	205mm×205mm	φ100
ウェザータイトパイプ用 φ150用	255mm×255mm	φ150
ウェザータイトパイプ用 φ200用	310mm×310mm	φ200

■防水テープ規格

呼 称	規 格	
スーパーチルテープN 片面タイプ(S)	50S	巾50mm×20m巻×厚0.5mm
	75S	巾75mm×20m巻×厚0.5mm
	100S	巾100mm×20m巻×厚0.5mm

■姿図

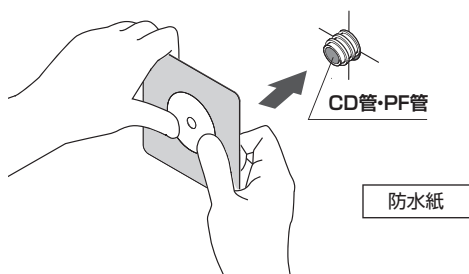
パイプ用



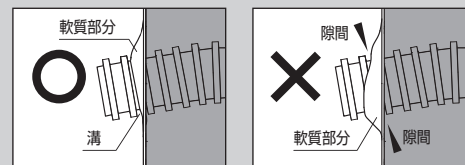
■施工手順

CD・PF管用

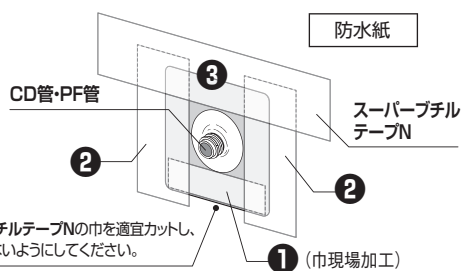
手順① ●ウェザータイトを適応サイズの管に奥まで差し込んでください。



- ⚠注意 ●グリーン面をオモテにして施工してください。
 ●管周りの軟質部分はCD管・PF管のジャバラの溝(凹部分)に必ず入り込むように納めてください。

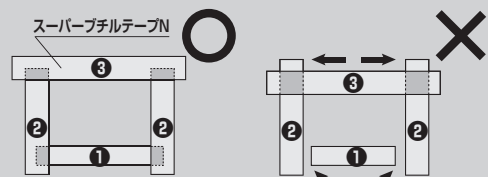


手順② ●ウェザータイトの周囲をスーパーチルテープNで、①、②、③の順番に従ってしっかりと固定してください。
 ●ウェザータイトの表面はモルタルが密着しないため、スーパーチルテープNで覆うように施工してください。



※水抜きのため、スーパーチルテープNの中を適宜カットし、本体下側の部分をふさがないようにしてください。(市現場加工)

- ⚠注意 ●スーパーチルテープNは、上端がはみ出さないよう注意してください。



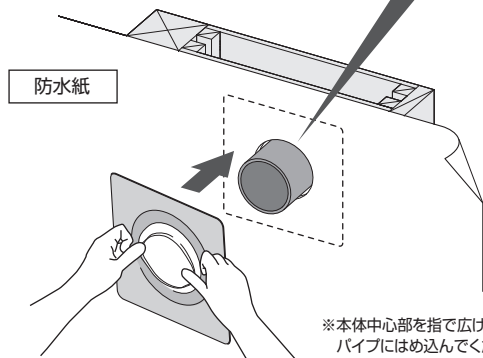
- ⚠注意 ●一度差し込んだウェザータイトは引き抜かないでください。
 ●施工をやり直したい場合は、新しいウェザータイトをご使用ください。
 ●スーパーチルテープNの施工は、隙間ができないようにしっかりと圧着してください。
 ●管の外周部に突起部がないか確認してください。突起がある場合は、その突起を取り除いて施工してください。(施工時に突起によりウェザータイトが破れる可能性があります。)

φ50用～φ200用

手順①

●ウェザータイト本体を適応サイズのパイプに奥まで差し込んでください。

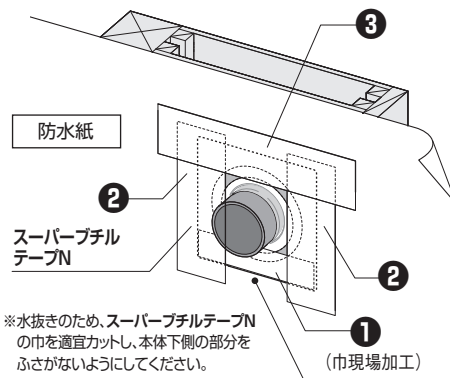
- パイプ周りの防水紙の切り込みに注意してください。
- ウェザータイト本体からはみ出るほどの大きさの切り込みがある場合はスーパーチルテープNで補修してください。



手順②

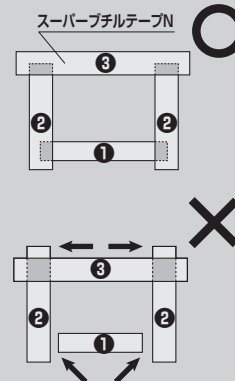
●ウェザータイトの周囲をスーパーチルテープNで、①、②、③の順番に従ってしっかりと固定してください。

●ウェザータイトの表面はモルタルが密着しないため、スーパーチルテープNで覆うように施工してください。



⚠注意

●スーパーチルテープNは、上端がはみ出さないよう注意してください。



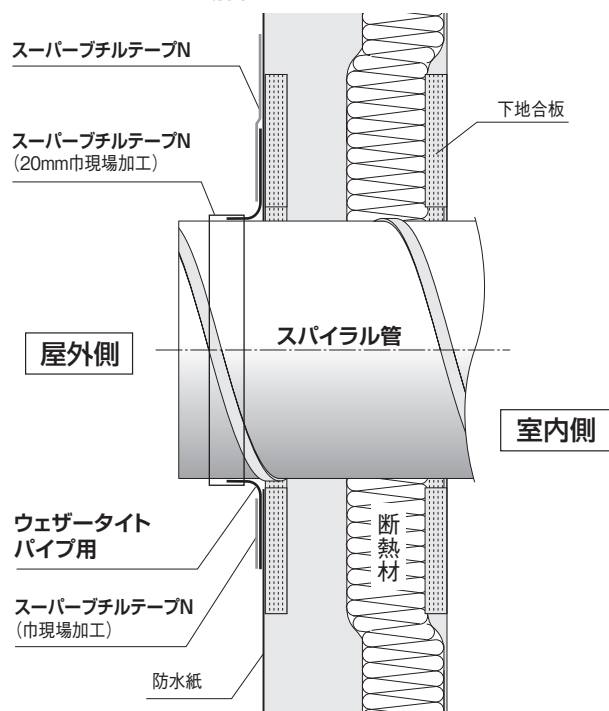
⚠注意

- ウェザータイトに表裏はありませんので、どちらにスーパーチルテープNを貼り付けても問題ありません。
- 一度差し込んだウェザータイトは引き抜かないでください。
- 再度施工したい場合は、新しいウェザータイトをご使用ください。
- スーパーチルテープNの施工は、隙間ができないようにしっかりと圧着してください。
- パイプの外周部に突起部がないか確認してください。突起がある場合は、その突起を取り除いて施工してください。(施工時に突起によりウェザータイトが破れる可能性があります。)

※使用するパイプがスパイラルダクトやアルミダクトの場合

ダクト周囲のウェザータイト軟質樹脂部は、スーパーチルテープN(20mm巾現場加工)にて処理してください。

●スパイラルダクトの場合



●アルミフレキダクトの場合

